

【司会】

皆さん、こんにちは。本日は、お足元の悪い中ご参加いただき誠にありがとうございます。ただ今から「みんなでつくろう。まちづくりの基本ルール」というテーマのもと、「第6回まちづくり基本条例市民学習会」を開会いたします。

私は、本日の司会を担当いたします、企画調整部企画政策課の宮野と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日のプログラムについてご説明いたします。

本日は、前回の学習会に引き続き「地域の公共的課題の解決法」をテーマに家庭ごみの問題について、各グループに分かれ、ワークショップを行いながら議論を行います。

最初に、今回からワークショップに参加される方のグループ分けを行います。次に、新潟大学の馬場先生より本日のワークショップの進め方についてご説明をしていただき、続いて事務局より前回の議論の流れについてのご説明を行います。説明の後、馬場先生の進行によりワークショップを行います。

なお、本日の学習会の閉会は午後4時を予定しておりますので、皆さんの御協力をお願いいたします。

それでは、これより事務局からグループ分けについてご説明をいたします。

(事務局)

企画政策課鈴木と申します。本日は、学習会にご参加いただきましてありがとうございます。

ただいまのアナウンスのとおり、今回の学習会では、参加者の皆さんから6つのグループに分かれてワークショップ形式で議論を進めていただきたいと思いますと考えております。前回参加していただいた方は、すでにグループの席に着かれていると思いますが、今回からワークショップに加わっていただく方は、グループ分けを行い、新たに6グループに加わっていただきたいと思います。これからグループ分けを行わせていただきます。大変お手数ですが、前回参加されていない方はご起立をお願いいたします。

【グループ分けを行い、新メンバーが6班に加わる。】

ありがとうございました。

【司会】

それでは、続きまして、ワークショップの進め方についての説明と「地域の公共的課題の解決法」をテーマにしたワークショップに移らせていただきます。

進行は、馬場先生に行っていただきます。それではよろしくお願いいたします。

【ワークショップの進め方について】

新潟大学大学院実務法学研究科准教授 馬場 健 氏

皆さん、こんにちは。今日の学習会は2つの予想がありまして、1つ目は天気が悪いので皆さんが出席しにくいのかなというのが第1番目、2つ目は天気が悪いのでどこに行くか考えなくても良いからここに参加していただけるのかなというのが2番目です。どちらになるかなと思ったら、これだけ多くの皆さんにご参加いただいて、大変ありがとうございます。

前回の学習会では、家庭ごみの問題を取り上げ、処理などの問題は考えずに、発生から収集までの間ということに限定して、その課題や問題について皆さんから付箋にいろいろ書き出して

ただきました。その後、出された付箋を摸造紙に貼って問題ごとにまとめ、集約する作業をしていただきました。そうすると、各グループのメンバーの中で同じ問題は1つにまとめ、違う問題は別々のものになる。今、各グループではこういう形ができてきていると思います。

それで、最終的にはどういうことを考えているかと申しますと、これをグループごとで発表していただくということを考えています。どんな発表をしていただくのかということですが、それが今日の作業の内容ということになるんですね。グループで出された課題や問題について、今度は、これを誰が問題解決するのかということです。

例えば、朝、ごみの監視員として収集場所に誰かが立たなければならないという問題があったとします。そうすると、これは誰が解決する問題なのかということです。机の上に用意してある摸造紙に「課題・問題点」、それから、「住民」、「町内会・自治会」、「その他団体等」、「行政」と書いてあります。ある問題は行政が解決しなければいけない問題かもしれませんが、ある問題は住民が解決しなければいけない問題かもしれません。また、ある問題は住民と自治会が一緒になって解決しなければならない問題かもしれません。いずれにしても、今申し上げたとおり、その問題について誰が解決する問題なのかということをご各グループで議論していただいて、整理をしていただき、それを次回、各グループで発表していただきたいと考えております。

つまり、これは公共的課題というものを皆さんが認識しているということが、まず第一なんですね。この課題は公共的課題なんだ、みんなで解決しなければならない問題なんだというふうに考えている。じゃあ、みんなで解決すると言ったときに、みんなって誰なんだろうということなんです。

具体的に誰がと言ったときに、もしかしたら、それは住民だけで解決できる、個人が解決できる問題なのかもしれないし、そうではなくて、行政が解決しなければならない問題かもしれないし、もしかしたら、それにNPOも加わってもらわなければいけないかもしれない、また町内会・自治会の協力が必要なのかもしれない。いずれの形になるのかは分かりませんが、それを皆さんで議論していただいて、グループごとに、この問題だったら誰が解決していったら良いんだろうかということ整理していただく。このようにして、公共的課題を解決していく上での、我々は「主体」と呼びますが、主体を確定していただくというのが今日の課題ということになります。つまり、最終的には公共的な課題が何なのかということと、それを誰が解決するのかということまでが今日の段階でグループごとにまとまるということになると思います。それに基づいて次回、各グループで、

自分達のグループでは、家庭ごみというものを媒介にして、公共的な課題というのはいくつものものがあると思う。

その公共的課題を解決する主体は誰なのか。

ということ整理していただいたものを発表していただくことにしたいと思います。

僕が長く説明するよりも、皆さんに議論していただく方が重要だと思いますので、この後、事務局の鈴木さんから説明をしていただき、ワークショップを行いたいと思います。

よろしくお願いします。

【ワークショップ】

テーマ 『地域の公共的課題の解決法～家庭ごみの問題～』

(事務局)

馬場先生、ありがとうございました。

続きまして、ワークショップに移らせていただきますが、その前に前回のワークショップに参加されていない方もいらっしゃるから、前回の作業の全体説明について私の方からご説明させていただきます。

前回の学習会では、6グループに分かれてワークショップを行いました。ワークショップでは、

議論の場づくりが重要ということで、参加者の皆さんから楽しく議論をしていただきたいと考えました。そこで、前回から私たち事務局の職員も雰囲気づくりのために、こうして私服で参加させていただいております。それから、『左手にお茶、右手にはペン』というスタイルで皆さんから議論を進めていっていただきました。

ワークショップの内容ですが、各グループで司会者や記録係などの係分担を行い、誰もが身近な問題であります、「家庭ごみの問題」をテーマに取り上げ、議論を行いました。

具体的には、今ほど馬場先生からご説明のあったとおり、家庭ごみの発生から家庭ごみの収集までの間の課題や問題について皆さんから議論をしていただき、各グループで、それぞれ皆さんから考えていただいた問題を付箋に書いて出していただき、書いた人からその内容について説明をしていただきながら模造紙に貼っていただくという作業を行いました。

その後、意味の近い付箋同士をグループ化し、グループ化したものにタイトルを付ける作業まで行っていただきました。

ここまでが前回のワークショップの内容です。各グループの作業経過の詳細につきましては、各グループに事務局の職員が入っておりますので、グループの皆さんにご説明していただきたいと思っております。

それでは、先ほど馬場先生から本日のワークショップの進め方についてご説明がりましたが、本日のワークショップのプログラムについて簡単にご説明いたします。本日お配りしました、資料1をご覧ください。

プログラムの1番目として、新規参加者が加わるグループは、参加者同士で自己紹介を行っていただきたいと思っております。ほとんどのグループに新たに参加者が加わっていると思っておりますので、前回と同様に自己紹介から始めていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

2番目として、グループ別に、司会者、記録係1名を選びます。次回の第7回目の学習会では、議論していただいた内容についてグループごとに発表をしていただきたいと考えておりますので、今回は是非、発表者も選んでいただきたいと思っております。前回の司会者や記録係の方がいらっしゃるグループは、その方が同じ係分担で進めていただきたいと思っております。詳細につきましては資料を確認していただきたいと思っております。

3番目といたしまして、前回の作業（カードを使った情報集約）の確認を行います。大半のグループが前回の作業がまだ途中だと思っておりますので、前回の作業の続きを行いながらグループ内で情報の共有を行っていただきたいと思っております。新しい参加者の方にも情報を提供してもらい、追加するものがあれば書き足していただきたいと思っております。

続きまして4番目の作業になりますが、「家庭ごみの問題」の情報集約が終了したグループは、問題を解決するための方法について考え、各主体の役割を導き出していただきたいと思っております。進め方の詳細につきましては、資料に掲載してありますので、確認しながら進めていただきたいと思っております。この4番目までが、今回のワークショップの目標になります。

もし、「家庭ごみの問題」を解決するための各主体の役割分担が終了したグループは、5番目の作業として、次回の発表用にまとめた作業を行ってください。

続きまして、6番目にその他と書かせていただきましたが、休み時間は各グループの自由とさせていただきます。また、グループの議論の進捗状況が早いから良くて、遅いから悪いということではありません。それから、他のグループの議論も非常に参考になると思っております。どんな議論をしているか、グループの休憩時間などを利用して自由に見学していただきたいと思っております。自分達のグループの議論が他のグループの議論を見ることで、さらに深まるかもしれません。また、先程申し上げたとおり、各グループに事務局職員が入りますので、進め方などで分からない点がございましたら、お気軽にお声掛けいただきたいと思っております。

以上でご説明を終わらせていただきますが、先程も申し上げましたとおり、次回の学習会では、各グループで議論した内容のまとめを行い、グループ別に発表を行っていただく予定ですのでよろしくお願いたします。

それから、今回のワークショップは議論の方法を学ぶことを目的に行うものですが、議論の練習のみではなく、議論していただいた成果を皆さんに実感していただけるよう、各グループで出されたまとめや成果品を参考資料として担当課の生活環境課に提示させていただきますので、お知らせいたします。また、前回も申し上げましたが、まちづくりの議論は楽しくなければ失敗です。今回も皆さんには、『左手にお茶、右手にはペン』というスタイルで議論を進めていただきたいと考えております。

それでは、家庭ごみの問題について、グループごとにワークショップを進めていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

-----【ワークショップ】-----

【事務局からの連絡事項】

（事務局）

皆さん、定刻となりましたので、ここで本日の議論を終了させていただきます。議論の途中のグループもあったかと思いますが、誠に申し訳ありません。

ここで事務局から、次回の第7回目の学習会の開催日程等についてお知らせいたします。最初に開催日程ですが、お手元の本日のプログラムの裏面のページ下に記載してありますとおり、2月14日、土曜日の午後2時から、こちらと同じ会場ですが吉田公民館で開催いたします。

予定している開催内容につきましては、第5回学習会から各グループに分かれてワークショップを行いながら議論してきた、家庭ごみの問題から考える「地域の公共的課題の解決法」について、新しい参加者にも加わっていただきながら各グループで議論した内容のまとめを前半部分で行い、後半部分で発表を行う予定です。今回は議論のまとめと発表となることから、進捗状況に応じては、終了時間が延びるかもしれませんので、申し訳ありませんが、あらかじめご了承くださいと思っております。

今後、皆さんに市政に参画していただく際には、こういったワークショップを行うことが多くなると考えられます。楽しくない議論に参加したいと思う皆さんは少ないはずですし、まちづくりの議論は楽しくないと意味がありません。

学習会の開催も、今年度、残すところあと2回の開催予定となっておりますが、今後も皆さんと楽しく議論する方法など、皆さんが市政に参加しやすい環境づくりや仕組みづくりといったことを心がけていきたいと思っております。

そのほか、ご意見・ご提案がございましたら、本日のアンケート用紙にご記入いただきたいと思います。それから、本日、質疑の時間を取りたかったんですが、時間の関係上、質疑の時間を省かせていただくことをご容赦いただきたいと思います。もしも質問等ございましたら、アンケート用紙にご記入いただければ、次回の学習会で回答させていただきますので、よろしくお願いいたします。皆さん、本日は大変おつかれさまでした。

【司会】

それでは、閉会予定の時間となりましたので、本日の学習会を閉会いたします。

なお、本日皆さんにお配りしたアンケート用紙は、お帰りの際、受付のテーブルにご提出くださるようお願いいたします。アンケートは、後日ご提出いただいても結構です。

次回の学習会も是非、ご参加くださいますようお願いいたします。それでは、お忘れ物がないよう御確認いただき、お足もとに気を付けてお帰りください。

長時間にわたり、御協力をいただき、ありがとうございました。